

やまだんの 山田野

40

独立行政法人
国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963
TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年をお迎えのこととこころよりお慶び申し上げます。

白い山が行きつ戻りつしながら当院に近づき、広い庭では色づいた葉をすっかり落とした木々が身を切る寒さの中で凍として立っています。その枝先には氷となった雪の跡、自然に抱かれた宿舎で、城端にきて17回目の冬を迎えています。一方、昨年夏の夏には自然豊かな九州や東北など各地で大きな災害が続き、その後も次々と現れた台風によって人工物はその脆さを露呈しました。あらためて自然との共生の難しさを感じましたが、被害に遭われた方々にはこころよりお見舞い申し上げます。

さて、昨年10月には国立病院機構通信(NHO PRESS)第5号の誌上にて、当院の認知症疾患医療センターの活動が紹介されました。高齢化が進む地域の安心と健康長寿の一助となることを目指して、平成24年に富山県から指定を受けてお

り、初期診断・対応を神経内科医で、心理・行動の症状には精神科医で、入院が必要な場合は看護師・心理療法士・作業療法士など多職種が関わり、地域での生活支援には地域連携室の精神保健福祉士が主に受け持っています。さらには、外来看護師を中心に在宅および施設での療養を支えるために訪問看護も行っており、今後は入院同様に医師を含め多職種での訪問も考えています。

また、前院長の古田先生が始められた睡眠医療では、平成27年に日本睡眠学会より県内初の睡眠医療認定医療機関の認定を受け、昨年4月よりは睡眠医療センターを開設することができました。そこでは、睡眠障害の精査・診断だけでなく、睡眠衛生に基づく生活習慣の見直しや指導、病状に合った薬物療法、さらに心療内科では心理療法士と協力しての認知行動療法による非薬物療法など、様々な病態に適した治療を提供しています。

上記に加えて、これまで同様、行動の制御が難しい重度精神遅滞の方々や神経難病の方々の医療、一般および医療観察法の精神障がい者の医療なども引き続き充実を図っていきます。お困りのことや心配ごとがございましたら、何なりと地域連携室へお問い合わせください。

国民全体の健康を支えるという負託に応える国立病院機構の一員として、当院基本理念の『生命と人権を尊重し、思いやりに満ちた医療を良心と誠意を持って実践する』を目指し、地域のだれからも大切にされる病院となるよう職員全員で日々励んでおります。

最後に、皆さまにとりまして幸多い年になりますよう祈念しまして年頭のご挨拶といたします。どうぞ今年もあたたかいご支援とご助言をこころよりお願い申し上げます。

病院長 坂本 宏

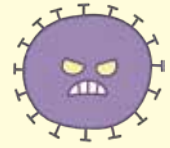


(参考) 国立病院機構通信 (NHO PRESS) 第5号
https://www.hosp.go.jp/nho_press.html

インフルエンザ対策は大丈夫ですか？

感染管理認定看護師
竹内 智教

皆さん、冬の病気を予防するために大事なことは何だと思いませんか？冬は、気温が下がり湿度も低下するため、細菌やウイルスの活動が活発になり注意が必要です。冬の病気の代表的なものとして、インフルエンザと感染性胃腸炎があります。今回は、インフルエンザに対する対策についてお話しします。



インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスが原因で起こる急性呼吸器感染症です。38℃以上の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの強い全身症状やその他に、のどの痛み、咳、鼻汁などの症状がみられます。

インフルエンザを予防する有効な方法としては、以下が挙げられます。

1 流行前のワクチン接種

インフルエンザワクチンは、感染後に発症する可能性を減らす効果と、発症した場合の重症化防止に有効と報告されており、日本でもワクチン接種を受ける人が増えています。

2 飛沫感染対策としての咳エチケット

インフルエンザの主な感染経路は、咳やくしゃみの際に口から出る小さな水滴（飛沫）による飛沫感染です。したがって、飛沫を浴びないように、咳やくしゃみが出る時はできるだけマスクをすること、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うことなどを心がけてください。



3 外出後の手洗い等

流水と石鹸による手洗いは、手指などについたインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法です。また、アルコール製剤による手指衛生も効果があります。手洗いは、インフルエンザに限らず、接触や飛沫感染などを感染経路とする感染症の対策の基本です。



4 適度な湿度の保持

空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度（50～60%）を保つことも効果的です。

5 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。



6 人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザが流行してきたら、特に御高齢の方や基礎疾患のある方、妊婦さん、体調の悪い方、睡眠不足の方などはマスクを使用し、できるだけ人混みや繁華街への外出を控えましょう。

職場紹介



栄養管理室長 小原 香耶

栄養管理室は、管理栄養士3名、調理師4名、事務助手1名、委託職員22名で、美味しく・安全な食事を提供するため、毎日頑張っています。「食事」というのは生きていく上で欠かすことのできないものであり、また人生の楽しみの一つでもあります。

当院は高齢者の方も多く、摂食機能低下が見られる患者様も少なくありません。そのような患者様でも安心して食事を召し上がっていただけるように摂食嚥下リハビリテーション学会が提示しているコード分類に対応した嚥下調整食を手作りし提供しています。

また、精神科病棟ではカフェテリアを開催したり、精神科デイケアでは簡単な調理実習をしたり、「食」に対する楽しみを持っていただけるような機会を設けています。

生活習慣病への予防対策も重要ではありますが、健康寿命（介護を必要としない期間）延伸のために早期に低栄養を予防することも重要項目の一つとされています。当院では認知症外来を受診される患者様を対象に、低栄養予防・改善に対する栄養食事指導を実施しております。認知症外来以外の方でも、ご自身の栄養状態が気になる、自宅での食事について悩んでいる方がいらっしゃいましたら、ぜひご相談ください！

重症心身障がい児(者)・強度行動障害看護 院内認定看護師になって



西1階病棟 看護師 加藤 麻紀



動く重症心身障がい児(者)、強度行動障害を有する方々は、言語的なコミュニケーションを図ることができず、言葉ではない独特の表現や行動を通して自分の思いを伝えようとしていたりされますが、なかなかスタッフに伝わらないことが多くみられます。また、刺激や情報の理解が難しく、この「伝わらない」と「分からない」が積み重なった結果が、不潔行為や自傷行為に至る原因とされています。「強度行動障害とは、周囲を困らせる行動ではなく、本人が困っていることに気づいてほしいサイン」とされていますが、対応が難しくスタッフは日々努力を重ねている状況です。

そんな中、重症心身障がい・強度行動障害看護院内認定看護師制度が当院において制定されると聞き、それを患者看護に生かせるのではないかと、重症心身障がい・強度行動障害看護院内認定看護師を志しました。この看護は、患者さんとのコミュニケーションが困難で、かつ身体、知能、精神いずれの分野においても専門性が高く求められるものであるため、難しい学習が続きましたが、研修を修了することができました。

院内認定看護師の目的は、「1.重症心身障がい・強度行動障害児(者)と、その家族を支援する知識と技術を習得し、患者のQOLの向上に向けて水準の高い看護実践ができる看護師を育成する。」「2.培った重症心身障がい・強度行動障害児(者)看護の専門的な看護実践を通して、院内の看護職者に対する指導や相談ができる能力を育成する。」「3.あらゆる場面において、重症心身障がい・強度行動障害児(者)の生命、生活、尊厳を尊重したケアを看護職や多職種と協働して提供できる能力を育成する。」です。これまで様々な研修に参加しましたが、自分の知識を深めることばかりに重点をおいてきました。今後は、院内認定看護師として自分から積極的にスタッフに患者さんの思いをくみ取るような関わりが大切であること、患者さんの立場になって考えることが重要であることを再認識してもらうよう働きかけたいと思います。それに伴って全スタッフが患者さんのサインをくまなくくみ取り、良い対応が実践でき、病棟全体で質の高い看護が行えるように活動していきたいと思っています。

カフェテリア



嚥下調整食



デイケア調理実習



外来担当医表

項目	月	火	水	木	金
精神科（初診）	市川・坂本	石橋・市川	白石・石橋	池田・細川	細川・白石
精神科（再診）	石崎・石橋	白石・池田	坪本・石橋	市川・石崎	池田・坪本
神経内科	吉田	小竹	吉田	吉田	小竹
内科	渡辺	渡辺	小川（渡辺）	（渡辺）	（渡辺）
心療内科				白石	
睡眠外来（初診）				細川	
睡眠外来（再診）	吉田	細川	細川		
専門外来	もの忘れ外来（吉田・坂本・市川・池田） パーキンソン病外来（吉田・小竹） 遺伝カウンセリング外来（小竹） 認知行動療法外来（うつ、不眠）（白石）		重症心身障害児<者>外来（石崎） 禁煙外来（白石） 認知症セカンドオピニオン外来（吉田）		
<p>●診察は完全予約制となっております。地域医療連携室にご相談ください。</p> <p>●受付時間・・・8:30～11:30 診療時間・・・8:30～12:00</p> <p style="text-align: right;">【地域医療連携室 直通電話】 0763-62-1950</p>					

看護師・療養介助員・看護助手募集中！

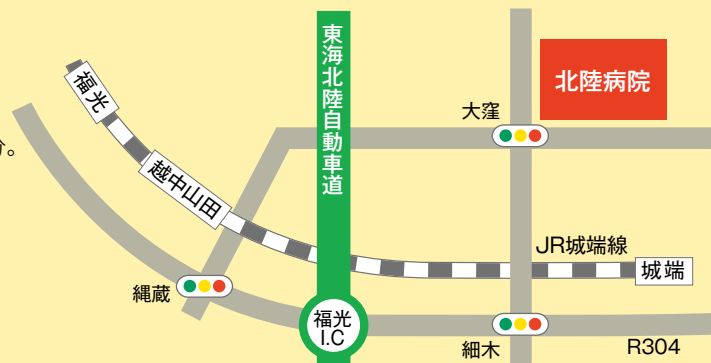
看護師の資格をお持ちの方を随時募集しています。子育てが一段落したからまた働いてみたい方、ゆっくり患者さまと関わる看護をしたい方、大歓迎です。私たちと一緒に働きませんか。話好き・世話好きな方、看護助手として病院で働いてみませんか。仕事は看護業務の補助や患者さまの介護、病棟内の清掃などで、経験や資格は不要です。勤務時間についてはご相談ください。

お気軽に
看護部長室まで
ご連絡ください。



【交通アクセス】

- ◆交通機関
JR城端線、城端駅より、タクシーで約5分。
- ◆高速道路
東海北陸自動車道、福光ICより約5分。
- ◆南砺市コミュニティーバス
JR城端駅・福光駅より出ています。



独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokuriku/>

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】池田・高木・今泉・坂本